

令和 6 年 6 月 1 3 日 招 集
第 4 回 小 坂 町 議 会 （ 定 例 会 ）

発 言 通 告 書

発言順	議席番号	氏 名	発言の種別	出 席 要 求 者
1	4	鹿兒島 巖	一 般 質 問	町 長
(発言の要旨) 1. この春先、暮らし向きにかかわる町民アンケートを行ったが、回答をいただいた町民の声や要望に応える施策の具体化が緊要と考え提案したい。		(発言の内容) 日本共産党小坂支部は今年2月から3月にかけて、まちづくり政策の基礎となる町民の声や要望を聞くための町民アンケートを行い、その結果を公表したところであるが、この町民アンケートに寄せられた声や、要望に応えるべきと受け止め、質問したい。 アンケートの「町で力を入れてほしい」ことの設問で、『高齢者福祉の充実』で40.9%、『除排雪対策』35.5%、『雇用・就職対策』30%と強い要望が寄せられている。 また、個別課題では「子育て支援」で『教育費の負担軽減』、「暮らし・福祉」で『公共交通の利便性の向上』が高い比率を示しており、施策の具体化が必要不可欠と考えるが、これらをどう受け止めるか。 寄せられた声や要望に応える課題については今後の議会で順次取り上げていきたいと考えているが、今議会では、人口減少・高齢化社会に歯止めがかからない中で、国や自治体は、安心した暮らしに責任を持ち保障する責務があることを前提として2つの課題について提案したい。 1. 公共交通の利便性の向上について 安全で安心できる地域社会の形成にとって地域交通政策はその根幹となると考える。交通権を保障し、地方自治体の本旨を生かし、協同で持続可能な地域社会を目指す施策として、公共交通の利便性の向上に向けた取り組みが喫緊の課題となっており、町でも一昨年「地域公共交通計画」を策定し取り組みを行ってきたところであるが、その進捗状況はどうか、町民の声に応える施策の具体化を求めたい。 2. 除雪対策について 降雪期の問題について、この時期の暮らしづらさから町を離れるなど、これまでも何度か取り上げてきたが、除雪、中でも間口除雪の問題が解決できればという町民の声を多く聞く。住み続けられるまちづくりへの施策として具体化すべきと考えるがどうか。		

発言順	議席番号	氏 名	発言の種別	出 席 要 求 者
2	2	工 藤 文 明	一 般 質 問	町 長
(発言の要旨) 1. 「小坂町防災ハザードマップ」を活用した防災意識の向上について 2. ツキノワグマによる人身被害防止に向けて 3. 十和田湖の緊急事案対応の現状について		(発言の内容) 令和4年3月に発行された「小坂町防災ハザードマップ」は、自然災害が町で発生した場合に備え、どのような被害がおこり得るのか、それらにどう対処すべきかを、的確にわかりやすくまとめています。 いざという時の備えのために、くり返し目を通しておきたい一冊であります。個人で目を通してなかなか身につくものではありません。 この「ハザードマップ」をテキストとして、希望する町民・自治会・団体のもとへ担当者が出向き、防災意識の向上のため「防災学習会」を開催してはいかがでしょうか。ご意見をお聞かせ願います。 担当者に同行する講師役としては、防災士の有資格者が町に複数おりますので、防災士が適任かと存じます。私も協力いたします。 昨年に続き、ツキノワグマによる人身被害の発生が危惧されています。事故を未然に防ぐため、クマの目撃情報などを正確に把握し、人命を最優先にして、できるだけ多くの町民と情報を共有すべきと考えます。 クマなどを目撃した際の連絡先を明確にしていきたい。時間を問わずに目撃情報を受け付けられないものか。メール配信に登録していない町民へクマ出没情報の周知をどう図るべきなのか。人身被害防止に向けて、町が今行っている対応で十分なのかを伺います。 十和田湖の小坂町側の緊急的な事案については、令和2年4月1日から十和田湖休平に鹿角広域行政組合消防本部が「十和田湖出張所」を開設し、消防業務を行っています。 十和田湖出張所は24時間体制ではありますが、職員2名で小坂町消防団休平班の軽積載車によって出動していますので、最も要請が多い救急の事案については、消防署小坂分署などからの出動となります。 この秋、十和田湖生出地区に「道の駅十和田湖」が始動しますので、十和田湖の小坂町側では観光客の増加が見込まれます。町の発展にとって期待される施設ですが、現地で救急車を要請しても到着まで30分以上を要する		

発言順	議席番号	氏 名	発言の種別	出 席 要 求 者
2	2	工 藤 文 明	一 般 質 問	町 長
(発言の要旨)		(発言の内容) 現状があり、課題とみなければなりません。課題解決のための対応策について伺います。		

発言順	議席番号	氏 名	発言の種別	出 席 要 求 者
3	7	木 村 則 彦	一 般 質 問	町長・教育委員会の教育長
(発言の要旨) 1. 自治会館への冷房設備の設置について 2. ツキノワグマ被害対策について 3. 教育委員会の委員選任について 4. 町長との懇談会の開催について		(発言の内容) 1. 暑い季節に自治会館での地域活動を支援するためにも、町独自の施策で町内各自治会館に一斉に冷房設備を設置する考えはないか伺いたい。 1. ツキノワグマ被害対策について、今年度に町が実施する対策について伺いたい。 2. 警察や猟友会など各関係機関との連絡体制がどのようなになっているのかを伺いたい。 3. 地域でのクマとの事故を防ぐために普段からの備えが必要かと思うが、町民から協力していただくための取組みについて伺いたい。 1. 令和3年4月から教育委員が1人欠員となっているが、3年もの間欠員となっている理由を伺いたい。 2. 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第三条では、教育委員会は、教育長及び四人の委員をもつて組織するとなっていることから、すみやかに適任者を選任すべきかと思うが、町長の考えを伺いたい。 1. 令和元年12月を最後に町長との懇談会が開催されていない。町長は町民が主役のまちづくりを掲げており、多くの町民からの意見等を町政に反映し積極的にまちづくり参加していただくためにも、懇談会を開催すべきではないかと思うが、町長の考えを伺いたい。		

発言順	議席番号	氏 名	発言の種別	出 席 要 求 者
4	3	菅 原 明 雅	一 般 質 問	町 長
(発言の要旨) 1. 「介護医療に携わる人材の確保」について 2. 「アカシアまつり」の開催時期について		(発言の内容) 町を回ってみて、改めて高齢者世帯・独居高齢者が多いことを実感しています。一方、町内施設における「介護や医療に携わる人材不足」が懸念されます。高齢者が安心して暮らすためには、何より「介護士・看護師の安定的な人材確保」が必要です。そこで、 1. 町としてこのような現状をどのように捉えておられるか、伺いたい。 2. 「介護士・看護師の安定的な人材確保」策があれば、お示し願いたい。 3. 具体的には、大館市の「秋田看護福祉大学」と小坂町とが締結し、場合によっては大館市鹿角市北秋田市等広域での大学との締結によって、「介護士・看護師を安定的に確保すること」を提案したい。いかがか。 今年もアカシアの花が散っての「アカシアまつり」となりました。温暖化の影響で開花が早まっています。町民の一人として、アカシアの香る満開の時期に、町内外の多くの方々と「アカシアまつり」を楽しみたいものだと考えています。 そこで、「アカシアまつり」の開催時期の変更を提案いたしますが、いかがでしょうか。		

発言順	議席番号	氏 名	発言の種別	出 席 要 求 者
5	6	本 田 佳 子	一 般 質 問	町長・教育委員会の教育長
(発言の要旨) 1. 町の照明等の設置について 2. 難聴者のための軟骨伝導イヤホンの導入について		(発言の内容) 1. 町の照明（街灯・防犯灯・道路灯）の数は年間どれくらい増えているか。 2. 自治会要望等で必要とされる箇所に、街灯または防犯灯など対応できているか。 3. 町内の各種の照明（街灯・防犯灯・道路灯）は、町民が日常生活する上で、安全を確保できるよう、適切に設置できているか。 1. 本町の庁舎窓口では、難聴の町民の方に対して、どのような対応をされているか。 2. 難聴の方にも庁舎窓口での説明をしっかりと聞け、理解できるよう、本町の窓口で軟骨伝導イヤホンを導入してはどうか。		

発言順	議席番号	氏 名	発言の種別	出 席 要 求 者
6	8	秋 元 英 俊	一 般 質 問	町 長
(発言の要旨) 1. 消防団員災害対応能力向上について 2. SNS詐欺被害について 3. 樹海ライン及び関連道路について 4. ツキノワグマの処理について		(発言の内容) 1. 昨今、災害が多発している中、迅速かつ適切な対応ができるよう消防団員の対応能力の向上が不可欠と考える中、鹿角広域行政組合消防本部が創設した鹿角市消防団員能力向上支援事業を、小坂町でも展開すべきと考えるが。 1. SNSや固定電話での特殊詐欺被害が多く聞かれている中、小坂町の住民も被害を受けた事例が発生、警察が被害防止を呼び掛けているが、町としても注意喚起などの対策をするべきと考えるが。(安全・安心な暮らしの形成。) 1. 近年、樹海ラインの藤原から笹森展望台の区間における木々が、道路に覆いかぶさっている状態を改善できないか。(観光バスなど大型車両が、木々を避け、中央を走行し、一般車両に危険を及ぼすとの住民の声。) 2. 十和田湖の和井内から大川岱までの道路について、舗装状態が悪い上に、側面(法面)の崩壊やガードレールの傾き、路肩の安全性に欠ける箇所等について、小坂町として早急な対応が必要と考えるが。 1. 鹿角市で展開するクマの処理施設について、小坂町ではその施設について、活用できないかを伺います。(町民と語る会で、猟友会がクマの処理に大変困っているとして、町での対応ができないかを提案してほしいとの要望があった。)		